

<長崎市：シャトルバスの運行>

施策名	シャトルバスの運行
取り組みの背景 地域の交通環境問題 行政・市民ニーズ 交通基盤シーズ など	背景 1：マイカ - 利用の増大により、交通渋滞が慢性化している。 背景 2：公共交通機関離れが進行し、特に、本市の代表的な公共交通機関であるバスの利用者が年々減少している。
目的・ねらい 目的・ねらい 対象交通 など	目的・ねらい：公共交通機関の利用促進を図ることによる交通混雑の緩和 対象交通：自動車利用者からの転換
取り組みの経緯 経緯・熟度 など	平成 7 年度：「長崎都市圏交通需要マネジメント調査」実施（長崎県） 平成 8 年度：「長崎市交通需要マネジメント調査」実施（長崎市） H8.12.10～H8.12.12 通勤シャトルバス試行実験（無料 3ル - ト） H9.2.25～H9.2.27 通勤シャトルバス試行実験（有料 2ル - ト） 平成 10 年 3 月：通勤シャトルバス運行開始（県営バス 矢上団地 宝町 平日朝 1 便） 平成 11 年 3 月：通勤シャトルバス増便（県営バス 矢上団地 宝町 平日朝 2 便）
主体・広報・費用 実施主体 検討組織 広報スケジュール 費用負担 など	実施主体：長崎県交通局（県営バス） 検討組織：長崎市 広報：県営バスの広報媒体（バス停、車内告知等）を活用した広報 費用負担：県営バスによる独自運行

実施概要	対象地域：東長崎地区～都心部
対象地域 実施日時 施策内容 など	実施日時：平成10年3月16日～（運行開始日） 施策内容： ・運行ルート：矢上団地 宝町（約17km） ・運行日：平日のみ ・運行本数：朝2便（7時30分発・7時54分発） ・運賃：通常のバス運賃と同じ ・運行車両：貸切バスタイプ（前乗り・前降り）
効果測定内容	効果測定内容：利用者数調査
測定内容 効果把握 など	効果把握結果：-
取組上の課題	課題1：地域住民には一定定着しているものの、通常の路線バスからの乗り換えがほとんどであり、マイカ削減の効果は薄い。
合意形成 費用負担 など	課題2：他のルートへの展開。
その他特記事項	
今後の方向性 地域指定等	

以上

都道府県市名：長崎県
 担当部局名：都市計画部交通企画課